

平成25年度第1回子ども・子育て会議 会議録

日 時	平成25年9月1日(日) 10:00～12:00
場 所	鎌ヶ谷市役所 第1・2委員会室
出席委員	山本会長、西副会長、引田委員、松岡委員、加郷委員、 長谷川(美)委員、松村委員、中村委員、菊池委員、皆川委員、 石神委員、長谷川(そ)委員、榎本委員、鈴木委員、中井委員
事務局	皆川健康福祉部長、望月健康福祉部参事(こども課長)、 田中健康福祉部参事(健康増進課長)、飯田保育支援室長、 鈴木子育て総合相談室長、菅井健康増進課主幹、 大野こども支援室長、こども支援室：星主査、乗田主任主事、 安田主事
記 録	乗田
議 題	(1) 会議の公開・非公開について 議事録署名人について (2) 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議について (3) 子ども・子育て支援新制度の概要について (4) 鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画の策定について (5) かまがやこどもサポートプランについて (次世代育成支援行動計画－後期行動計画)

会 議 内 容

1 委嘱状交付

～市長より各委員に委嘱状が手渡される～
～市長あいさつ～
～各委員の自己紹介～

2 会長・副会長の選出

委員からの推薦により、会長は山本委員、副会長は西委員に決定した。

3 諮 問

諮問書が市長から会長に手渡された。

4 議 題

- (1) 会議の公開・非公開について
議事録署名人について

「鎌ヶ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針」により、原則公開となった。

傍聴人は、開催会場を考慮し5名となった。

会議録署名人は、引田委員、西委員になった。

(2) 「鎌ヶ谷市子ども・子育て会議について」

～事務局より資料1と資料4に基づき説明～

(3) 子ども・子育て支援新制度の概要について

～事務局より資料5に基づき説明～

委員 以前の制度と新制度の違いはなにか。

事務局 新制度は、消費税による財源の裏付けがある制度となっている。また、縦割りであった制度を内閣府で一本化し、ニーズをとらえながら計画を策定することで、需要にあった政策展開ができるため、市町村の役割が大きくなると考えています。

(4) 「鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画の策定について」

～事務局より資料6、資料7、資料8、資料8-1、資料8-2に基づき説明～

委員 実際に調査票を記載していくと、約80分かかる。子育て中の親は、何よりも時間が必要である。回収率を上げるために、協力した人に対し報酬とかはないのか。

事務局 現時点では、予算計上をしていないが、どのようなことができるか検討します。

委員 無作為抽出することで、幼稚園利用者や保育園利用者に偏らないか。

事務局 偏りは少ないと考えています。

委員 分析方法・内容については、国から示されるのか。

事務局 国から示される予定です。

委員 調査票は、見やすいが厚いと思います。現計画のサポートプランの評価に関する質問項目の文言が難しいのではないかと。計画は、区域の設定が必要であると思うが、区域ごとに抽出されるのか。国は、未就学児を対象とした調査を想定しているが、例えば、これから母親になる妊娠中の方や未婚の女性などは対象としないのか。

事務局 調査票については、本日お示ししたものをベースにしていく予定です。サポートプランの評価に関する質問項目については、具体的に表現し、わかりやすい表現にします。区域の抽出については、プログラムで地区ごとに抽出できるようになっている。妊娠中や未婚の女性については、母子手帳を渡す際にヒアリング等で意見をいただこうかと

考えています。

委員 調査対象者はどのくらいの割合で、回収率はどのくらいを見込んでいるのか。

事務局 1学年あたり1000人程度、0歳児は、9月1日を基準日とするため500人くらいと想定していますので、未就学児は全体で約5500人のうち調査対象者を2000人。小学校就学児は、全体で約6000人のうち調査対象者を1200人としています。また、回収率は、50%を見込んでいます。

委員 返信の郵便代は、140円になるかと思いますが、この140円を報酬に利用できないか。

委員 インパクトのあるインセンティブをつけて回収率をあげられないか。

事務局 鎌ヶ谷市は、市民意識調査などアンケートの回収率は、他市に比べて比較的高く、市民の皆さんの協力を多く得られていると考えています。

今回のニーズ調査を実施するにあたって、委員の皆様から回収率の確保のために報酬を出したらどうかなどの方策をいただきましたので、アンケート調査をする際の貴重なご意見として、実施の検討事項として承らせていただきます。

また、市内の公民館などには市民ポストもあるので、郵便以外で返信・回答できるよう調査票に記載し、回収率の確保に努めていきます。

(5) かまがやこどもサポートプランについて

(次世代育成支援行動計画－後期基本計画)

～事務局より資料9に基づき説明～

委員 二中サロンに協力させてもらっているが、駐車場が少なく使いづらい。東部学習センターなどの施設で同様の事業ができないか。

事務局 状況は把握しています。年3回東部学習センターで移動児童館を実施していますが、東部学習センターで二中サロンと同様の事業を開催することについては、検討させていただきます。

委員 東部地区には児童センターがない。身近なところにいつでも使える生活の場を整えてほしい。

事務局 機会があるごとに要望はしています。引き続き要望をしていきます。

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

平成25年9月18日

氏 名 引田 満

氏 名 西 智子